

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	道路施設	小分類	道路整備	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名	福島第2原発関連車両交通の分散を目的とした敷地内道路整備の検討						
	目的・概要	朝のピーク時に通勤車両が集中して施設周辺が混雑する状況を、混雑地点の手前から施設にアクセスできる敷地内の私道を整備し、緩和をはかった場合の効果を評価する。						
	本事例におけるモデル適用上の特徴							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	約2km四方	対象時間帯	7:00~9:00				
	評価対象時期	平成5年頃						
	対象道路網	一般街路ネットワーク						
	ネットワーク規模	ノード数	14	リンク数	16	起終点ノード数	8	総トリップ数
		一般街路ネットワーク		交差点数	6	信号交差点数	2	道路区間数
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数
	特記事項							
(ネットワークの概略図面を添付) 左:現況, 右:施設内道路整備後								
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度					
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数					
		合流部						
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット					
		作成方法	現況再現は実測値を用いた。将来ケースは飽和度比でスプリットを設定。					
	交通需要	設定単位	OD交通量					
		作成方法	交差点で観測した分岐交通量を元に作成					
空間単位		端点から端点へ						
時間単位		15分ごと						
	車両属性区分	乗用車、大型車						
その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan方式, 1秒/1スキャン						
	パケットサイズ	1台/パケット						
	経路選択原理	道路新設後は、最短距離を選択するものとした。						
	特記事項							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率					
		方法	旅行時間および断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整					
	検証方法	旅行時間、断面交通量を用いた検証						
	検証用データ取得方法	旅行時間は数台のフローティング車両を走行させて測定した。						
出力データ	総遅れ時間, および通勤車両の平均所要時間							
記入者	所属機関・部署 (株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html		
公表文献・資料等								